

# サプリメント・食べ物・飲み物と 医薬品の相互作用について

～具体例をご紹介します～



## ワーファリンとイチョウエキス

一緒に飲むと抗凝固作用が助長し、出血が止まりにくくなる恐れがあります



## スタチン系薬剤（コレステロール治療薬）と紅麴

紅麴に含まれるモノコリンKがスタチン系と構造が類似しており効果が重複する可能性があります。



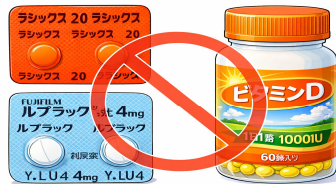
## ニューキノロン系・テトラサイクリン系とカルシウム・鉄などのミネラル

薬とミネラルが結合（キレート化）し、薬の吸収を妨げて感染症の治療効果を下げる恐れがあります。



## 降圧剤（ARB）とカルシウム

薬の影響でカルシウムの排泄が遅延し、サプリでカルシウムを補充することで「高カルシウム血症」のリスクが高まる恐れがあります。



## 利尿剤とビタミンD（カルシウム）

薬の影響でカルシウムの排泄が遅延し、サプリでビタミンDを補充することでカルシウムの吸収が促進し「高カルシウム血症」のリスクが高まる恐れがあります。



## 降圧剤（Ca拮抗薬）とグレープフルーツ類

薬の分解が妨げられ、吸収率が高まることで、降圧効果が強くなる可能性があります



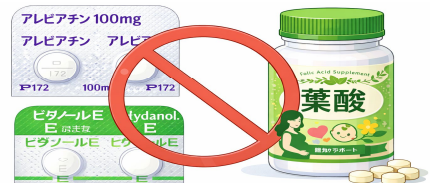
## ワーファリンと納豆・青汁・クロレラ

抗凝固剤の効果が打ち消され、効果が減弱して血栓ができやすくなる恐れがあります



## チラーゼンとカルシウム・鉄などのミネラル

薬とミネラルが結合（キレート化）し、薬の吸収を妨げて効果を減弱させる恐れがあります。



## フェニトインと葉酸。

フェニトインの血中濃度が低下し、薬の効果が弱まる（てんかん発作が起きやすくなる）リスクがあります。



## アルコールと睡眠薬

どちらも中枢神経抑制作用があり、一緒に飲むと意識障害・呼吸抑制ふらつき・転倒などのリスクが高まる恐れがあります。



## セントジョーンズワートと各種薬剤

セントジョーンズワートは薬を代謝する酵素を活性化させて、薬の効果を弱めます。  
注意）SSRIやSSRIとの併用では効果を強めセロトニン症候群を引き起こす恐れがあります



おじさん薬剤師の日記

<https://kusuri-yakuzaishi.com/>